

平成26年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	黒岩英至
		全体計画				経費区分		-		内線	3423
事務事業名	5584 産業人材育成事業										
所 属	150200 産業振興部・産業連携開発課										
施 策	05052900 雇用機会の充実と産業人材の育成										
予算 科目	会計	01 一般会計									
	科目	050102 労働費・労働諸費・労働諸費									
	事業	040000 産業人材育成事業									
事業目的						事業概要・効果					
<p>次世代のものづくり産業を支える人材育成を行うために、各種講座の開催及び補助金等の支援を行う。</p>						<p>産業振興の基礎となる人材育成に主眼をおき、産学官の連携をとりながら、在職者訓練や職業能力開発、子どもたちにもものづくりへの興味を持ってもらうことを主眼に、各種講座の開催を引き続き進める。</p> <p>受講者の要望や資格取得、スキルアップが図れる講座の実施ができるよう充実を図っている。</p> <p>効果として、須坂市のものづくり産業の将来を考えたとき、地域に「ものづくり」ができる人材を多く育てることが必要であり、最先端の機械も使う人によって結果（成果）が異なる。機能を引き出せる優秀な人材の養成に結びつくことが期待される。</p>					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
1 産業人材育成のための各種講座の開催 2 産業人材育成のための市独自講座の開催 3 善光寺平地域産業活性化金型人材養成等事業 4 人材育成支援事業補助金 5 次世代産業人材育成支援事業補助金	1 産業人材育成のための各種講座の開催 2 産業人材育成のための市独自講座の開催 3 次世代産業人材育成支援事業補助金
平成24年度 実績	平成25年度 実績
1 産業人材育成のための各種講習会の開催 2 産業人材育成のための市独自講座の開催 3 次世代産業人材育成支援事業補助金	1 産業人材育成のための各種講習会の開催 2 産業人材育成のための市独自講座の開催 3 次世代産業人材育成支援事業補助金
平成26年度 予定	平成27年度 予定
1 産業人材育成のための各種講習会の開催 2 産業人材育成のための市独自講座の開催 3 次世代産業人材育成支援事業補助金	1 産業人材育成のための各種講習会の開催 2 産業人材育成のための市独自講座の開催 3 次世代産業人材育成支援事業補助金

指標名	産業人材育成研修への参加				
算式	各種講座への年間参加者数				単位 人
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標	500	500	500	500
	実績	669	629	337	
指標選定の理由	たくさんの方の産業人材を輩出するため。				
最終年度目標の根拠	産業人材を育成するために、500人の参加者数を確保したい。				
指標名					
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		8,633	6,459
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	1,113	528
一般財源		7,520	5,931
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	0.1	0.1
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	685.8	685.8
	嘱託職員	272.5	272.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	958.3	958.3
市民一人当たりの経費		0.2	0.1
総額		9,591.3	7,417.3

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	1,759	講師謝礼1,759
11節 需用費	267	消耗品189 燃料費76
13節 委託費	4,988	おでかけパソコン教室委託4,987
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	987	次世代産業人材育成支援事業補助金200 技術情報センター指定管理者自主事業補助金787
その他	632	講師旅費 62 役務費(広告料、手数料、保険料) 161 使用料及び賃借料357 原材料費44 自動車重量税6

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	2,600	講師謝礼2,600
11節 需用費	720	消耗品600 燃料費120
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	2,150	人材能力開発90 人材育成100 次世代産業人材育成200 技術情報センター指定管理者自主事業補助金1,760
その他	989	講師旅費65 役務費(広告料、手数料、保険料)140 使用料及び賃借料584 原材料費200

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか 	高い
評価コメント	多くの企業が参加できる講座、企業が求める産業人材育成、また、既存産業の高度化・高付加価値化に対応できる人材育成となるよう実施することが求められる。特に市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業でなく、行政内部の管理運営上必要な事業でもない。しかし、市が主体となり実施すべき事業であり、法的な根拠や公的関与の妥当性はある。講座が偏っており、そのときに決めている節があり、目的が結果(施策の目指す理想)に結びついているかは微妙である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	講座については、おおむね参加企業、参加者から好評を得ており、前年度の要望により再度講座を行っているものもある。その意味で参加者に対しては事業の成果は上がっている。目標に対する達成度はH25で減少し、十分ではない。市民生活上の課題解決には特に関係なく、行政内部の管理上の課題解決にも貢献していない。事業の目的が達成できるような事業内容にはなっていない。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	常に市民や企業の声を聞き検証をしながら、求められる講座を組み立てており、効率性は高い。予算額は年々減額しており、成果を落とさずにコストを削減する方法はあり、効率率性向上に努めている。使用料などの受益者負担を行っており、財源確保の余地はある。	

振り返り(決算年度の取組み課題)

開催した講座に関しては、産業の求める課題に基づいた内容をその都度検討しながら行うことができ、好評を得た。ただし、産業の求める人材をどう育成していくかについては、幅広い分野にどう応えていくかなど、難しい課題となっている。求められるニーズに的確に応えた支援や講座の開催を考えていきたい。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>多くの企業に参加いただける講座、企業が求める産業人材育成となるよう実施することが求められる。また、平成27年4月開校の須坂創生高校（仮称）への支援も併せて行っていく。</p>		<p>引き続き産学官金連携により、産業人材育成に努め、次世代が地域において活躍できるようその支援に努める。企業が必要とする自主活動による各種研修や講座の開催支援、専門家派遣事業など引き続き行政支援体制の充実に努める。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	